

地域存亡と災害からの復興

求められる再生への担い手とは

災害は地域の脆弱性を顕在化、加速化させる。新潟県中越地震では山村の過疎化がそれまでの5倍の速度で進み、三宅島噴火災害では全島避難の末の帰還率が6割前後にとどまった。しかも、被災地へ帰還する階層は、災害前より常に高齢化、単身化、病弱化する傾向があり、その結果、離農一年金依存と過疎の町村にとっては地域の存亡にかかわる事態を招く恐れさえある。

ただ、数少ないが、被災者の一番の悩みは住宅の損壊とみてとり、県独自の住宅再建制度を設けて衰退に歯止めをかけた鳥取県西部地震の事例もあり、復興の舵取りをする担い手の統治力が地域存亡を左右すると言っても過言ではない。今後、南海トラフ巨大地震や首都直下地震の発生が想定される災害列島ニッポン。地域存亡の鍵を握るのは決して国ではなく、自治体も含む地域のガバナンスである。

地方行政府、ボランティア、研究者、復興リーダー、ジャーナリストらボトムアップで災害からの復興と取り組む人たちが一堂に会し、地方再生への担い手像について意見を交わし、これからの災害多発時代に向けた復興のあり方を考える。

全国被災地交流集会「円卓会議」

2017年 **1月8日(日)** 13:00~17:30

関西学院会館レセプションホール 光の間・翼の間 (兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

一地域衰退に立ち向かう一

司 会 野呂 雅之 (関西学院大学 災害復興制度研究所 主任研究員・教授)
松田 曜子 (長岡技術科学大学准教授)

シンポジウム

2017年 **1月9日(月・祝)** 13:00~17:30

関西学院会館レセプションホール (兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

■ 映 画 上 映

「うつくしいひと」

熊本出身の映画監督と俳優による被災前の熊本を舞台にした作品

主なキャスト：橋本 愛 姜尚中
高良 健吾 石田 えり

監 督：行定 勲



■ 特 別 講 演

「熊本地震から故郷の復興」

行定 勲 (映画監督)

■ パネル討論

「地域再生に立ち上がる」

趣 旨 説 明 野呂 雅之 (関西学院大学 災害復興制度研究所 主任研究員・教授)

パネリスト 江川 紹子 (ジャーナリスト)

(五十音順)

小野 泰輔 (熊本県副知事)

平井 邦彦 (長岡造形大学名誉教授)

山下 弘彦 (日野ボランティア・ネットワーク コーディネーター)

司 会 岡田 憲夫 (京都大学名誉教授/関西学院大学災害復興制度研究所 顧問)

申し込み方法

参加ご希望の方は、裏面の参加申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記宛に郵便、FAX又はメール(参加申し込み用紙と同じ項目を記載)にてお申し込みください。(入場無料)

関西学院大学 災害復興制度研究所 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

URL <http://www.fukkou.net/> TEL.0798-54-6996 FAX.0798-54-6997 E-mail: kgu_fukko2005@fukkou.net

[主催] 関西学院大学 災害復興制度研究所 [共催] 日本災害復興学会 [後援] 朝日新聞社